



申24・31号の会社回答に対して

組合員から怒りの声が相次ぐ！

3月8日に会社回答があった申24号「2024年度賃金のベースアップ」、申31号「2024年度夏季手当、2023年度末手当支給」について、組合員から怒りの声が相次いでいます。

組合員の怒りの声

- ベアと定昇の合計額で有耶無耶にするの、いい加減止めたらどうでしょう？手取り以外は無関心な社員(駒)しかいないと思っているのでしょうか。割とみんな見えていますよ…
- ベースアップに格差をつけてどうしたいのか？直ちに辞めろ！！俺らは人間だ！
- 例年よりは頑張った回答ではあるが、ここ数年間での労働強化、物価上昇、定昇カットに対し、しっかりと利益が出た以上、満額あるいはそれ以上の回答こそが示されるべき。
- ベースアップと定期昇給、様々な手当を含み賃金引上げたと言向き相当賃上げしたように見せかける手法は、賃金のベースアップを求めている我々とは考え方に乖離がある。ベアと夏季手当の同時議論も全くメリットが感じられない。早く夏季手当の額を知ることよりも集中議論し高額をもらう方がよい。実際、ベアも夏季手当も低額回答である。再回答を求めたい。まだ離職率をあげたいのですか？
- 夏期手当は最低でも3ヶ月は出せ！増収増益になったのは社員の頑張った成果だ！支払い能力はあるのは解っている！それで何が社員の幸福だ、笑わせる！
- 去年からもそうだけど定期昇給とベースアップをごっちゃにして「合計でこれだけ上がってますよ～」アピールはヤメロ！結局またベースアップに格差は付いているし、夏期手当も低額回答だ。これでは働きがいますます無くなって離職率が上がってしまう。人を大事にしない会社は本当にいつか潰れるぞ！経営陣はいい加減気づくべきだ！
- 物価上昇は皆に同じく等しいのに、ベアに最大2600円の格差を付けることは、生活に格差を付けているのと同じであり、ベースアップの趣旨から外れるやり方は辞めろ。本来は別々の財布のベアと手当を一色単に見せ、手当を抑え込む手法は許せない。今回からの同時議論。手当の議論が早すぎる。